

# Scinable EC Intelligenceバージョンアップリリースのご案内

2025年5月

株式会社シナブル

貴社におかれましては、ますますご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、利便性や分析力をさらに強化する複数の新機能をリリースいたしました。早速  
ではございますが下記のとおり主なバージョンアップ内容をお知らせいたします。

詳細につきましては、ヘルプサイトと導入ガイド(仕様書)をご覧ください。

- ヘルプサイト  
<https://help.scinable.com/>
- 導入ガイド  
[https://help.scinable.com/?page\\_id=260](https://help.scinable.com/?page_id=260)  
PW: uJGh1eQjD2FVi

<b>1. アナライズ</b> .....	<b>4</b>
1.1. CPM／配信ダッシュボードの新設.....	4
1.1.1. CPM(Customer Portfolio Management)ダッシュボード.....	4
1.1.2. 配信ダッシュボード.....	5
1.2. ユーザ定義テーブルの機能拡張.....	6
1.2.1. 利用例:「ファイル」機能→ユーザ定義テーブル更新機能.....	6
1.2.2. 利用例:SFTP・AWS S3など→ユーザ定義テーブル更新機能.....	6
1.3. 商品グループIDによる商品別レポート集計の対応.....	7
1.4. レポートメールのサーバ出力、自動連携に対応.....	8
1.5. 特定のレポートに「全体の合計のみを出力」を追加.....	9
1.6. レポート指標の拡張(CVR、平均注文金額など).....	9
1.7. カスタムピボットで、集計項目と集計値へのSQL式対応.....	10
<b>2. メルマガ</b> .....	<b>11</b>
2.1. AIによる、タイトル・本文の自動生成機能追加.....	11
2.2. HTMLメールからのテキスト抽出機能追加.....	13
2.3. テンプレートに閲覧モードを追加.....	13
2.4. メルマガ全体のサムネイル画像自動生成機能追加.....	14
2.5. テンプレートのアイコン画像簡易生成機能追加.....	15
2.6. 送信元アドレス・送信元名の動的変更機能追加.....	16
2.7. 返信先アドレスのデフォルト設定機能追加.....	16
2.8. プレビュー件名設定機能追加.....	17
2.9. 同じメールアドレスへ複数店舗から配信するメルマガを別々に開封計測(多店舗対応).....	17
2.10. 配信除外の条件をメールアドレス以外に変更できるよう対応.....	17
2.11. メルマガ編集領域をリサイズできるよう対応.....	18
2.12. 画像選択時に画像名(表示名、登録名)を表示するよう対応.....	18
<b>3. LINE</b> .....	<b>19</b>
3.1. 要請メッセージの表示タイミングを、ユーザが選択できるように対応.....	19
<b>4. ファイル</b> .....	<b>20</b>
4.1. 外部サーバ(SFTP・AWS S3など)への連携機能追加.....	20
4.2. 出力されるファイルに、文字コードの変換表を適用する機能を追加.....	21
<b>5. 各チャネル</b> .....	<b>21</b>
5.1. 重複除外の条件をメールアドレス以外に変更できるよう対応.....	21
<b>6. シナリオ</b> .....	<b>22</b>
6.1. 顧客フィルター設定シナリオに対して、アイコンを表示する機能を追加.....	22
6.2. 接客ウィジェットの追加.....	23
<b>7. 顧客グループ・顧客セグメント</b> .....	<b>24</b>
7.1. 利用中のセグメントを削除できないよう対応.....	24
7.2. セグメント属性「カスタム」に、項目「回数」を追加.....	24
<b>8. アンケート</b> .....	<b>25</b>
8.1. 公開ボタンで、公開済みかどうかが分かるよう対応.....	25
8.2. Webhookメニューを一般メニューへ統合.....	26
8.3. アンケートの回答を削除できるよう対応.....	27
8.4. 質問画面・確認画面・完了画面で共通設定できるヘッダー・フッターを追加.....	27
8.5. 「回答を保存」オプション、「バルクロード」機能の廃止.....	28

8.6. 回答内容のメール配信を、回答者と担当者で別々に設定できるよう対応.....	28
<b>9. 接客.....</b>	<b>28</b>
9.1. プロモーションごとに配信比率を設定できるよう対応.....	28
9.2. プロモーションのA/Bテスト機能を強化.....	29
9.3. サンプルテンプレートを階層で分類、閲覧モード追加、テンプレート大幅拡充.....	30
9.4. 表示条件の対象ユーザーに、「シナリオの会員に表示」を追加.....	31
9.5. 表示条件に曜日・時間の設定を追加.....	32
9.6. サービス・プロモーションにメモ機能を追加.....	32
9.7. プロモーションをコピーする機能を追加.....	33
9.8. すべての公開ボタンを廃止.....	33
<b>10. チャット.....</b>	<b>34</b>
10.1. ライブ画面のすべてのチャットで未読メッセージがあると、通知音が鳴るオプションを追加.....	34
10.2. チャット以外に、メッセンジャー専用の接客プロモーション・検索・WebサイトURLを表示できる機能を追加.....	35
10.3. 複数のチャットデザインを設定する機能を追加.....	36
10.4. ボットのフローを検索する機能を追加.....	36
<b>11. サーチ.....</b>	<b>37</b>
11.1. サジェストで、複数キーワードをソートせずそのまま指定するオプションを追加..	37
11.2. 検索フィルタ・類語辞典で、複数キーワードをダブルクオーテーション区切りで1つの単語として扱う機能を追加.....	37
11.3. item.tsvのstring・number・disp項目数の拡張に対応.....	37
11.4. グループ商品機能利用中かどうかを管理画面で確認できるよう対応.....	37
11.5. Webサイトのクロール機能追加.....	38
11.6. 検索APIのレスポンス項目の一部変更.....	39
<b>12. 顧客.....</b>	<b>39</b>
12.1. 任意の予備項目で検索できる機能を追加.....	39
<b>13. データ連携(タグ、ファイル).....</b>	<b>40</b>
13.1. _setSessionタグ、_trackSessionタグの引数にopt_operatorを追加.....	40
13.2. _setCustomVarタグの会員ID(customerId)・会員ランク(customerLevel)を暗号化してCookieに保存するよう対応.....	40
13.3. 会員データファイル(member.tsv)に、「メルマガ登録解除リンク」の項目を追加	41
<b>14. ユーザ管理.....</b>	<b>42</b>
14.1. ロールグループ機能を追加.....	42

## 1. アナライズ

### 1.1. CPM／配信ダッシュボードの新設

新しい2種類のダッシュボードを追加しました。

#### 1.1.1. CPM(Customer Portfolio Management)ダッシュボード

RFM区分を組み合わせて、顧客毎にCPMグループ名を設定し、分析ができます。

- 顧客を、新規獲得顧客や優良顧客、離脱顧客などのCPMグループに分類し、レポートを確認することができます。
- CPMグループの推移も確認できます。
- CPMグループ名は、会員情報(最新)、注文情報(注文前と注文後)、会員別の各月末時点を保持しており、アナライズでの各種分析に利用できます。

※ご利用には、弊社で設定が必要ですので、ご連絡ください。

※CPMの分類の基準にRFMを利用しています。

※RFMの閾値変更をご希望の場合は弊社までご連絡ください。

※CPMグループの定義は変更可能です。

The screenshot shows the CPM Dashboard interface. At the top, there are four tabs: '注文サマリー' (Order Summary), 'CPMレポート' (CPM Report, currently selected), 'CPM時系列' (CPM Time Series), and 'CPM間の移動' (CPM Migration). Below the tabs are two sets of search filters. The first set for '基準年月' (Benchmark Month) includes dropdowns for '含む' (Include), '等しい' (Equal), and '1カ月前' (1 Month Ago), with a search button. The second set for '比較年月' (Comparison Month) includes dropdowns for '含む' (Include), '等しい' (Equal), and '2カ月前' (2 Months Ago). The main area contains two tables. The left table is titled 'CPM表' (CPM Table) and shows a grid of data for F (累積購入回数) and R (最新購入日). The right table is titled 'CPM比較表 (基準年月vs対象年月)' (CPM Comparison Table (Benchmark Month vs Target Month)) and shows a grid of data for CPM Group Name and membership counts. The CPM group names are color-coded: New Customer (green), VIP Customer (purple), Departing Customer (orange), and Departing Good Customer (red).

CPM表		CPM比較表 (基準年月vs対象年月)	
		集計項目	
F(累積購入回数)	集計項目	-30日	91日-
1回	現会員数	1	
2-3回	現会員数		
4-5回	現会員数		
10回以上	現会員数	1	

CPMグループ名	現会員数	前月会員数	対前月
合計	8	7	14
新規顧客	1	0	0
VIP顧客	2	2	0
離脱顧客	3	3	0
離脱優良客	2	2	0

### 1.1.2. 配信ダッシュボード

配信情報に関する複数のウィジェットが連動した画面を追加しました。

- ウィジェット内でデータを選択することで、他のウィジェットへ結果が反映されます。
- 関心のあるデータを、タブを切り替えることなく、同一画面内で掘り下げて分析が可能です。

たとえば、下記のように「配信一覧」ウィジェットで見たいデータを選択すると、「配信日別開封率・クリック率(クリック会員数/配信数)」ウィジェットの内容が変わります。

The screenshot displays the 'Delivery Dashboard' interface with three main sections:

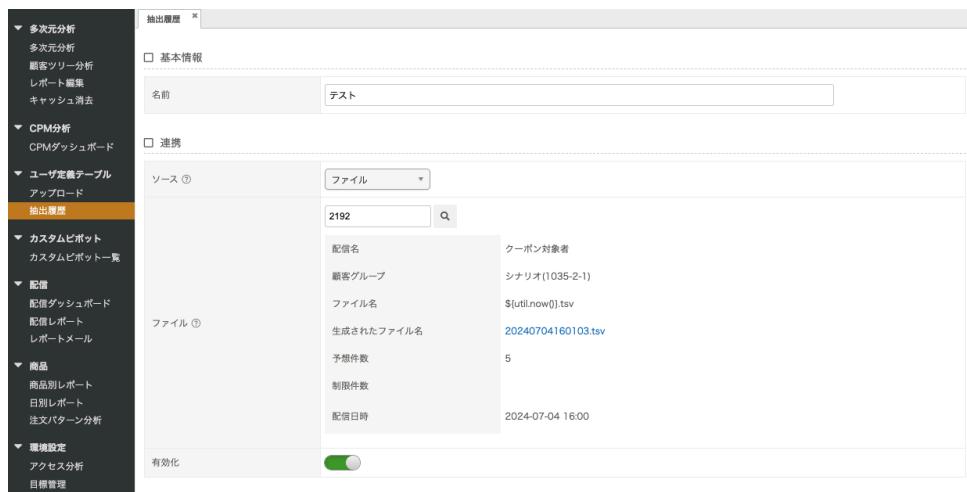
- 配信一覧 (Delivery List):** A table showing delivery statistics. The table has columns: 配信数 (Delivery Count), 開封率 (Open Rate), 訪問数 (Visit Count), and 注文件数 (Order Count). The data shows 1 delivery with 0.00% open rate, 0 visits, and 0 orders. A summary row shows 1 delivery with 100.00% open rate, 0 visits, and 0 orders.
- 配信日別開封率・クリック率 (クリック会員数/配信数) (Delivery Date-wise Open Rate and Click Rate):** A bar chart comparing open rate and click rate across different dates. The Y-axis represents the rate (0 to 1.25). The X-axis shows dates: 2024-08-14, 2024-10-21, 2024-10-22, 2024-11-13, 2024-11-14, and 2025-02-13. The chart shows two bars for each date, representing '開封率' (Open Rate) and 'クリック率' (Click Rate). The bars for both rates are at 1.00 for the first two dates and 0.00 for the remaining dates.
- 配信別配信日別注文金額 (Delivery Date-wise Order Amount):** A section showing order amounts. It displays the message: '表示するデータがありません' (No data to display).

## 1.2. ユーザ定義テーブルの機能拡張

「ファイル」機能で作成したCSVファイルや、外部サーバ(SFTP・AWS S3など)に配置されたCSVファイルを、ユーザ定義テーブルへ直接取り込みできるようになりました。

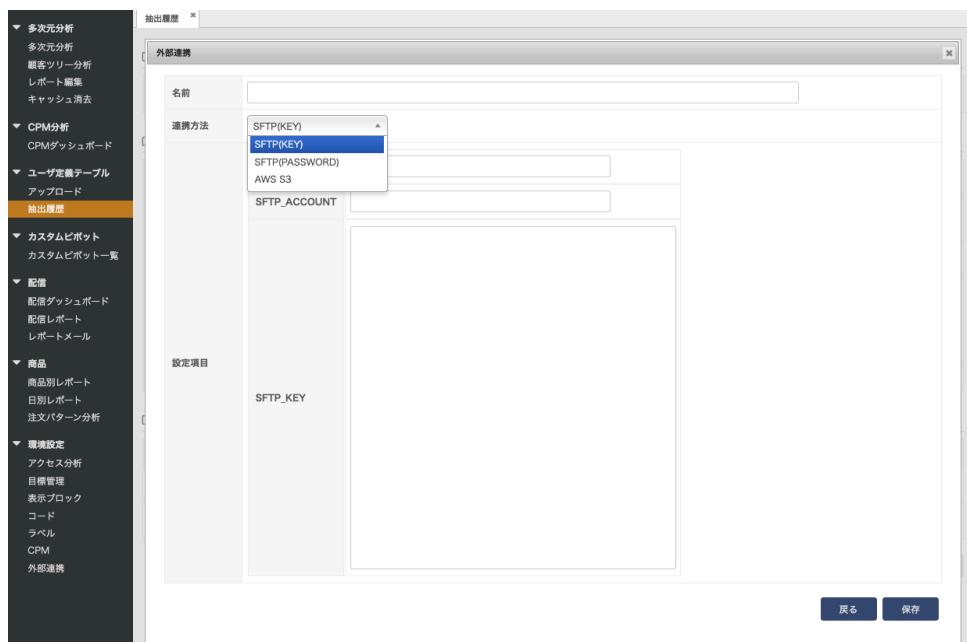
### 1.2.1. 利用例:「ファイル」機能→ユーザ定義テーブル更新機能

- 「ファイル」機能で作成したCSVファイルをユーザ定義テーブルへ取り込み、多次元分析レポートや顧客グループ作成に利用することができます。
- 「ファイル」機能側で繰り返しスケジュールを設定することで、指定のユーザ定義テーブルを定期的に更新することができます。



### 1.2.2. 利用例:SFTP・AWS S3など→ユーザ定義テーブル更新機能

- お客様ご指定のSFTP・AWS S3など、外部環境にあるCSVファイルをユーザ定義テーブルへ取り込み、多次元分析レポートや顧客グループ作成に利用することができます。
- 繰り返しスケジュールを設定することで、指定のユーザ定義テーブルを定期的に更新することができます。



### 1.3. 商品グループIDによる商品別レポート集計の対応

カートタグ／ファイル、注文タグ／ファイルに商品グループIDを指定して連携することで、商品別レポート、日別レポートにおいて、商品グループID単位での集計が可能になりました（従来は、商品IDのみで集計可能でした）。

#### ◆従来の、商品IDでの集計結果



商品別レポート

▲ オプションを隠す

2024-05-12 - 2024-08-1

検索

集計項目	商品ID	完全一致			
アクセス数	等しい		カート数	等しい	
カート率(%)	等しい		注文件数	等しい	
注文率(%)	等しい		注文金額	等しい	
原価	等しい		利益	等しい	
セッション数	等しい		表示件数	1000	▼

商品ID	セッション数	アクセス数	カート数	カート率(%)	注文件数	注文率(%)	注文金額	原価	利益
gd4	2	6	3	150	0	0	0	0	0
gd2	3	32	17	566.667	1	33.333	2,546	0	2,546
gd1	3	9	3	100	1	33.333	3,055	0	3,055
gd5	3	18	20	666.667	1	33.333	1,018	0	1,018

#### ◆追加された、商品グループIDでの集計結果



商品別レポート

▲ オプションを隠す

2024-05-12 - 2024-08-1

検索

集計項目	商品グループID	完全一致			
アクセス数	等しい		カート数	等しい	
カート率(%)	等しい		注文件数	等しい	
注文率(%)	等しい		注文金額	等しい	
原価	等しい		利益	等しい	
セッション数	等しい		表示件数	1000	▼

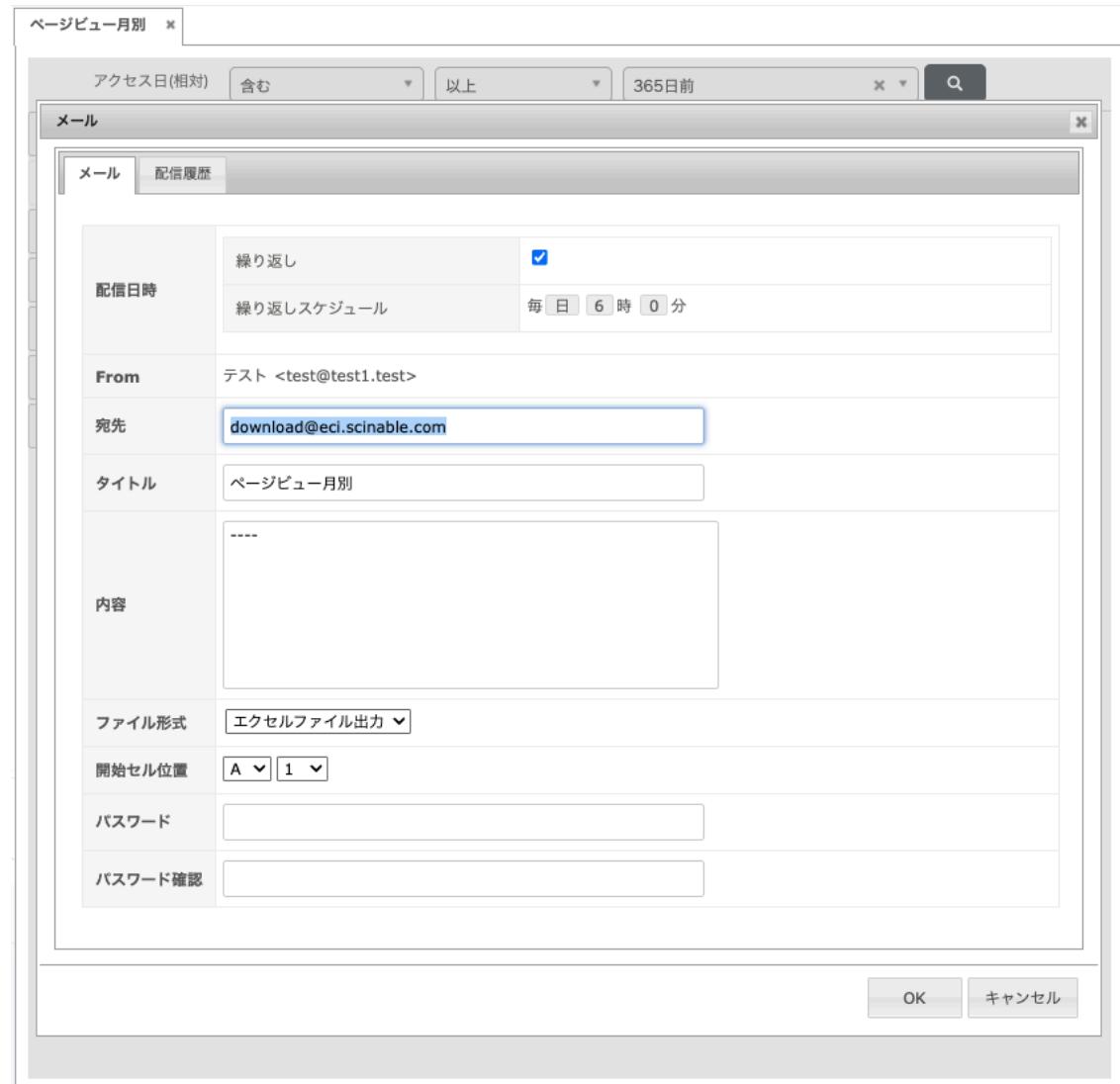
  

商品グループID	セッション数	アクセス数	カート数	カート率(%)	注文件数	注文率(%)	注文金額	原価	利益
gd2	0	0	1	0	1	0	2,546	0	2,546
gd1	0	0	0	0	1	0	3,055	0	3,055
gd5	0	0	5	0	1	0	1,018	0	1,018
ステーショナリー	3	18	15	500	0	0	0	0	0
いい気分	8	47	22	275	0	0	0	0	0

#### 1.4. レポートメールのサーバ出力、自動連携に対応

多次元分析レポートをメール送信する際、宛先のドメインが「[@eci.scinable.com](mailto:@eci.scinable.com)」で終わるメールアドレスを指定すると、指定したメールアドレスへレポートが送信されず、設定したサーバ(※お客さまご指定のSFTP・AWS S3など)へダウンロードできるようになりました。

例) [download@eci.scinable.com](mailto:download@eci.scinable.com)



※ご利用には、弊社で設定が必要です。また、出力先サーバの情報をご連絡いただく必要があります。

## 1.5. 特定のレポートに「全体の合計のみを出力」を追加

多次元分析の下記のレポートにおいて、「全体の合計のみを出力」を追加しました。

- 訪問と注文
- 訪問とコンバージョン
- 訪問と注文とコンバージョン
- 配信情報(旧)
- 配信情報
- イベントと訪問と注文
- イベントと訪問とコンバージョン



レポート編集(訪問と注文)

集計項目 集計値 フィルター

全体の合計のみを出力

項目一覧

名前で絞り込み

行(必須)

会員.会員可否  
会員.会員ID  
会員.CPMグループ名  
訪問.分期  
訪問.週  
訪問.日

## 1.6. レポート指標の拡張(CVR、平均注文金額など)

多次元分析の下記のレポートにおいて、集計値により実践的な分析指標を追加しました。

- 配信情報レポート:「クリック率」「平均注文金額」「CVR」
- 訪問と注文とコンバージョン:「平均注文金額」「CVR」
- イベントと訪問とコンバージョン:「平均注文金額」「CVR」

※CVR = コンバージョン件数 ÷ 訪問数

## 1.7. カスタムピボットで、集計項目と集計値へのSQL式対応

カスタムピボットにおいて、集計項目と集計値でSQL式を利用できるようになりました。

集計項目は「データソース」のテーブルのみ、集計値は「集計データのテーブル」のみ加工が可能です。

(例) dim1とdim2を&文字で結合し、dim1+2という集計項目名で設定

集計項目

データソース

tb\_fact\_member + 設定 ユーザ定義テーブル

テーブル tb\_fact\_member 主キー

一括インポート ②

結合先の集計データ

テーブル tb\_fact\_member 外部キー

集計項目 ②

カラム	ラベル	フィルター入力方法	操作
dim1	dim1	文字列入力	+ 削除 + コピー
dim2	dim2	文字列入力	+ 削除 + コピー
concat(tb_fact_me x	dim1+2	文字列入力	+ 削除 + コピー

OK キャンセル

SQL式入力

式 concat(tb\_fact\_member.dim1,' & ',tb\_fact\_member.dim2)

OK キャンセル

## 2. メルマガ

### 2.1. AIによる、タイトル・本文の自動生成機能追加

タイトル・本文中の[AI]ボタンより、メールの概要を記載すると、タイトルや本文をAIが生成する機能を追加いたしました。

なお、AI機能のご利用は、下記のAI利用規約へ同意いただいた上でご利用をお願いいたします。

<https://www.scinable.com/ai-terms>

#### ◆タイトルのAI生成画面

The screenshot shows the AI Mail Generation interface with three generated email snippets and a sidebar with styling options.

**AIメール生成**

メールの概要を記述してください。

カートに入れてから注文されなかったお客様へ向けた、注文を促すHTMLメールを作成してください。

生成

23/1000

この機会をお見逃しなく！カート内商品をご確認ください

コピー 適用

カートに入れてから注文されなかったお客様へ向けた、注文を促すHTMLメールを作成してください。

ご注文をお忘れですか？カートの商品を今すぐチェック

コピー 適用

カートに入れてから注文されなかったお客様へ向けた、注文を促すHTMLメールを作成してください。

あと一步でご購入完了！あの商品がカートに残っています

コピー 適用

カートに入れてから注文されなかったお客様へ向けた、注文を促すHTMLメールを作成してください。

長くする  
短くする  
アピールをより強くする  
信頼性のある表現にする  
フレンドリーなトーンにする  
最後にアクション喚起する  
限定されている表現にする  
過剰な表現を避ける  
誤字脱字や文法的な誤りを修正する

## ◆本文のAI生成画面

AIメール生成

メールの概要を記述してください。

カートに入れてから注文されなかったお客様へ向けた、注文を促すHTMLメールを作成してください。  
商品は最大4商品を2×2で差し込んでください。

生成

☰

カートに入れてから注文されなかったお客様へ向けた、注文を促すHTMLメールを作成してください。  
商品は最大4商品を2×2で差し込んでください。

件名例：  
【お忘れですか？】カートの商品がまだご注文されていません！今なら在庫あり！

本文（HTML）：

```
```html
```

こんにちは！  
ご利用いただき、ありがとうございます。

カートに商品を追加されていますが、まだご注文が完了していないようです。  
ご希望の商品は、在庫に限りがございます。この機会にぜひご注文ください！

 %%PRODUCT1

 %%PRODUCT2

## 2.2. HTMLメールからのテキスト抽出機能追加

HTMLメール内のテキストのみを抽出する機能を追加しました。

下記の赤枠のボタンを押すと、HTMLメール内のテキストやスクリプト部分の記述のみをクリップボードへコピーしますので、テキストメール内で貼り付けていただくことで、テキストメール作成の手間を削減できます。



## 2.3. テンプレートに閲覧モードを追加

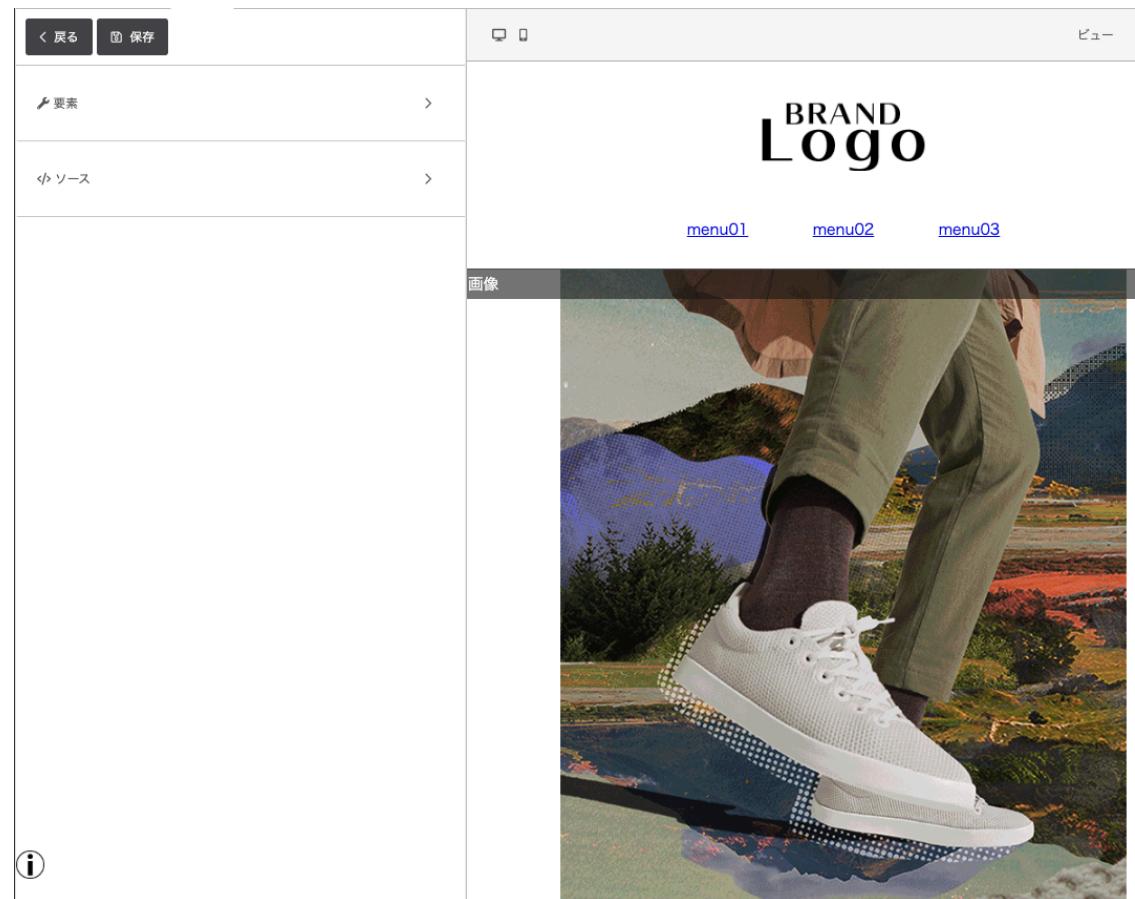
サンプルテンプレートに閲覧モードを追加しました。

テンプレートを個人用へコピーすることなく、内容の確認ができるようになりました。



## 2.4. メルマガ全体のサムネイル画像自動生成機能追加

メルマガを作成して保存し、コンテンツ設定画面へ戻ると、下記赤枠のように自動でサムネイル画像が生成されるようになりました。



□ コンテンツ

From	テスト < test @ test1.test >
返信先	
タイトル	この夏を制する必須アイテム満載！見逃せないおすすめアイテム情報 <span>AI</span>
内容	<p>HTML</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; text-align: center;"></div> <p>テキスト</p>
プレビューテキスト	
一括設定URL/パラメータ ②	<p>HTML</p> <p>テキスト</p>

戻る プレビュー 次へ

## 2.5. テンプレートのアイコン画像簡易生成機能追加

下記のようなメールを作成し、赤枠の「撮影」ボタンを押すと、アイコン画像を簡易生成できるようになりました。



↓↓↓



## 2.6. 送信元アドレス・送信元名の動的変更機能追加

メールが本文で、下記の変数名を#setで指定すると、送信元アドレス・送信元名を動的に変更できるようになりました。

ドメイン(@マーク以降)は、メールのコンテンツ編集画面で選択したFromドメインに自動変換されます。

```
#set ($eml_from_address="Fromアドレス(@マークより前の部分)")  
#set ($eml_from_name="From名前")
```

(例)Fromドメインが「@example.com」の場合

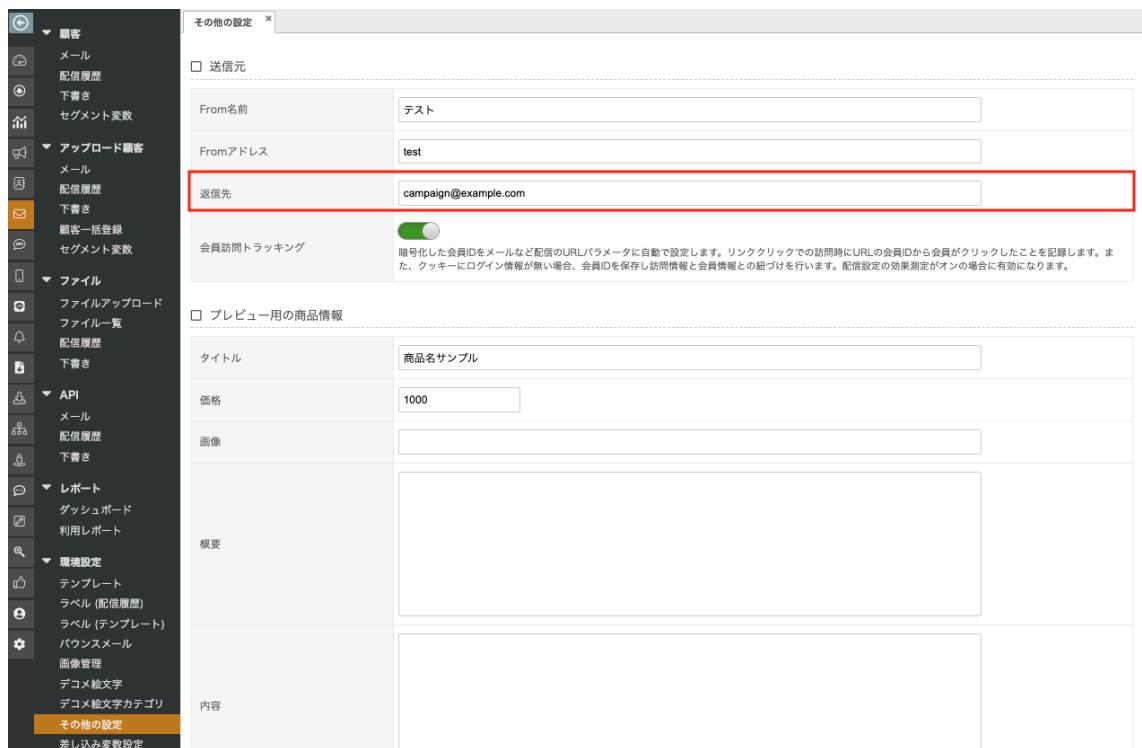
```
#set ($eml_from_address="campaign")  
#set ($eml_from_name="Scinableキャンペーン事務局")
```

と本文に指定したメールのみ、メール配信時は「Scinableキャンペーン事務局 <campaign@example.com>」が送信元アドレス・送信元名となって送信されます。

本文に指定していない場合は、デフォルトの送信元アドレス・送信元名で送信されます。

## 2.7. 返信先アドレスのデフォルト設定機能追加

返信先アドレス(Reply-To)のデフォルト値を設定できるようになりました。



## 2.8. プレビュー件名設定機能追加

プレビュー時の件名を設定できるようになりました。



## 2.9. 同じメールアドレスへ複数店舗から配信するメルマガを別々に開封計測(多店舗対応)

メルマガの開封判定はデフォルトで、配信ID×メールアドレスで実施しておりますが、新たにサブID(ランダム値)も使用した開封判定が可能になりました。

※この機能は、デフォルトではOFFです。

※ご利用には、弊社で設定が必要です。

(例)モール運営者が同一の配信をストアAとストアB用に同一メールアドレスを持つユーザ1に対して配信している場合

ストアAのメルマガをユーザ1が開封すると、ストアBのメルマガをユーザ1が開封していないくとも開封したことになってしまいます。

↓本設定をONにする

ストアAのメルマガをユーザ1が開封し、ストアBのメルマガはユーザ1が未開封の場合、ユーザ1はストアAのメルマガのみ開封した扱いにできます。

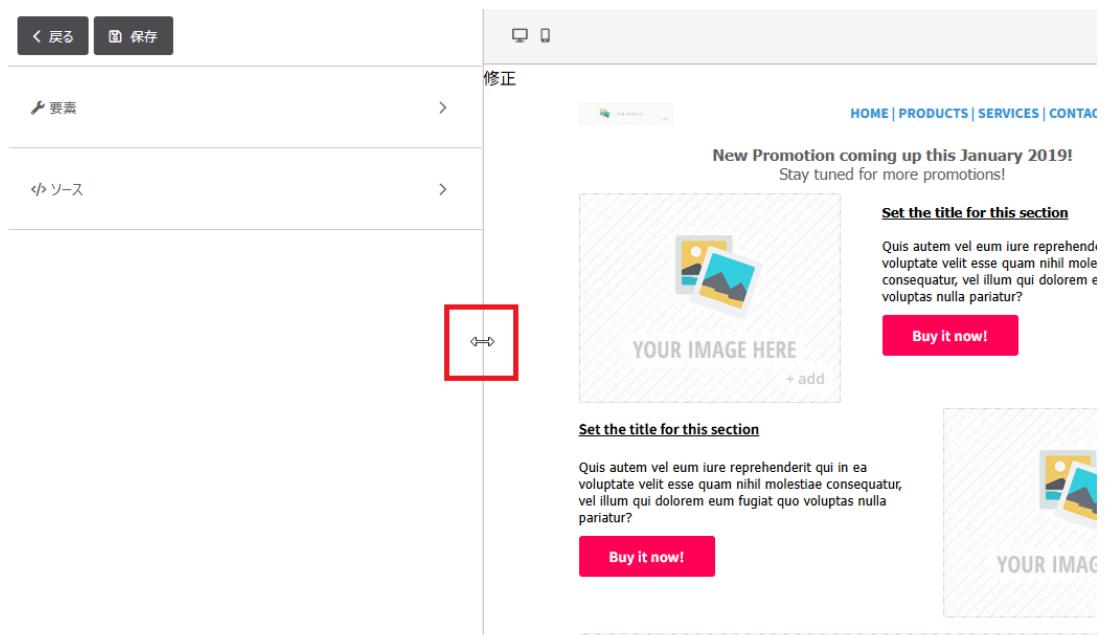
## 2.10. 配信除外の条件をメールアドレス以外に変更できるよう対応

配信除外の条件は、デフォルトではメールアドレスになっていますが、メールアドレス以外にしたり、メールアドレスと他の項目を併用することができるようになりました。

※ご利用には、弊社で設定が必要です。

## 2.11. メルマガ編集領域をリサイズできるよう対応

メルマガ編集画面において、編集領域とプレビュー領域を区切る縦線をドラッグすることで、編集領域をリサイズすることができるようになりました。



## 2.12. 画像選択時に画像名(表示名、登録名)を表示するよう対応

画像ダイアログにて、画像名を表示名と登録名に分けて表示されるようになりました。

表示名は、お客様がアップロードされた時のファイル名です。

登録名は、ECIが画像をサーバへアップロードした際に付与され、実際にメールマガコンテンツ内で利用される画像のファイル名です。

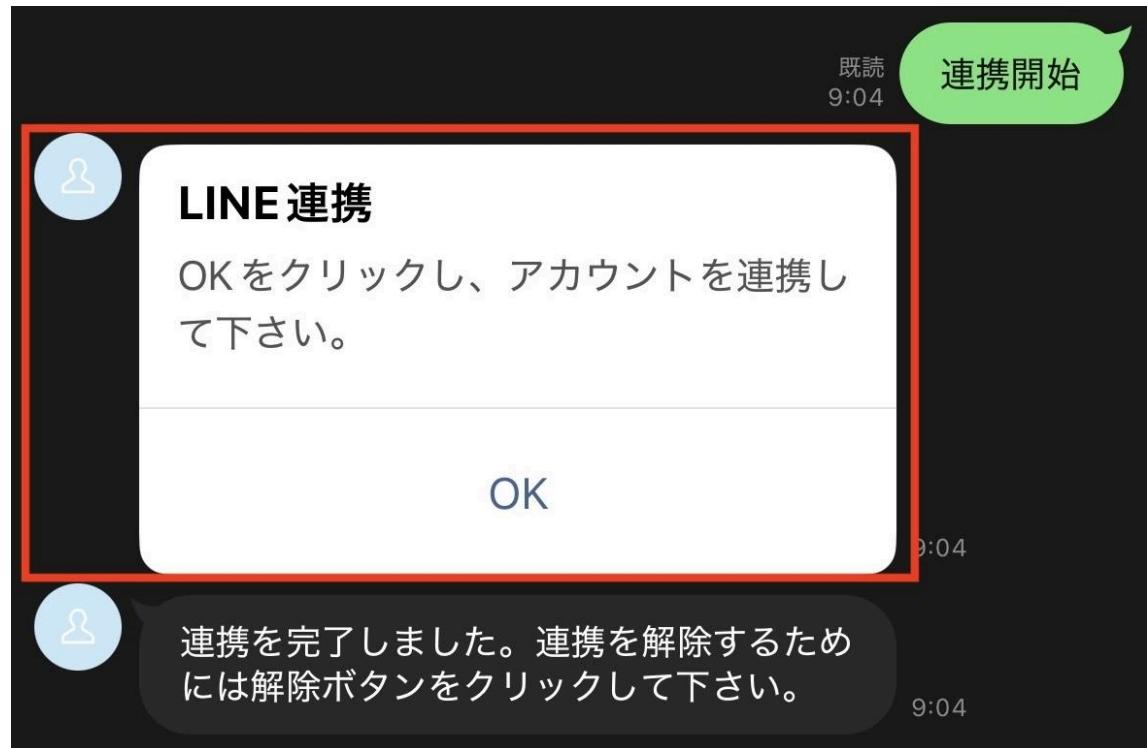


### 3. LINE

#### 3.1. 要請メッセージの表示タイミングを、ユーザが選択できるように対応

LINEのMessaging APIを用いた連携をする際、下記のような連携用ダイアログから連携する必要がございますが、この連携用ダイアログはデフォルトで、下記のタイミングで表示されます。

- 友だち追加時
- ブロック解除時
- トリガーメッセージ送信時



この連携用ダイアログを、「トリガーメッセージ送信時のみ」に限定するよう、設定可能になりました。

## 4. ファイル

### 4.1. 外部サーバ(SFTP・AWS S3など)への連携機能追加

「ファイル」機能で作成したCSV・TSVなどファイルを、外部のSFTP・AWS S3などへ連携できるようになりました。

本機能をご利用になる場合、お客さまの方で外部連携先のご用意と、ECI管理画面で連携先の設定をする必要があります。

#### ◆外部連携先設定画面

ファイル \* 外部連携 \*

名前: test\_sftp\_key  
連携方法: SFTP(KEY)

SFTP\_HOST: 127.0.0.1  
SFTP\_ACCOUNT: scinable

設定項目: SFTP\_KEY

戻る 保存

#### ◆ファイルごとの外部連携先設定画面

抽出履歴 \*

抽出日: 等しい 選択  
抽出時間: 等しい 選択  
同じ繰り返し内:   
完了された抽出:

外部連携

外部連携: 47  
名前: duke sftp key  
連携方法: SFTP(KEY)

アップロードパス: /main/sub/  
アップロードファイル名: test.csv

戻る 下書きに登録 次へ

- 4.2. 出力されるファイルに、文字コードの変換表を適用する機能を追加  
ECI内部のデータを出力する際、指定の文字コードに変換して出力すると、  
変換後の文字が存在しなかったり、まったく異なる文字になってしまうケー  
スが存在しています。

その対応として、予め文字コードの変換表を作成し、ECI管理画面からアップロードしておくことで、出力するファイルの文字コード変換トラブルを防止できます。



## 5. 各チャネル

- 5.1. 重複除外の条件をメールアドレス以外に変更できるよう対応  
重複配信を除外する条件は、デフォルトではメールアドレスになっています  
が、メールアドレス以外にしたり、メールアドレスと他の項目を併用するこ  
とができるようになりました。

※ご利用には、弊社で設定が必要です。

## 6. シナリオ

### 6.1. 顧客フィルター設定シナリオに対して、アイコンを表示する機能を追加

顧客フィルターが設定されているシナリオに対して、シナリオ一覧画面のシナリオ名の下・シナリオ詳細画面のシナリオ名の横に、アイコンを表示できるようになりました。

シナリオ一覧画面で、一目で顧客フィルター指定有無が確認できます。



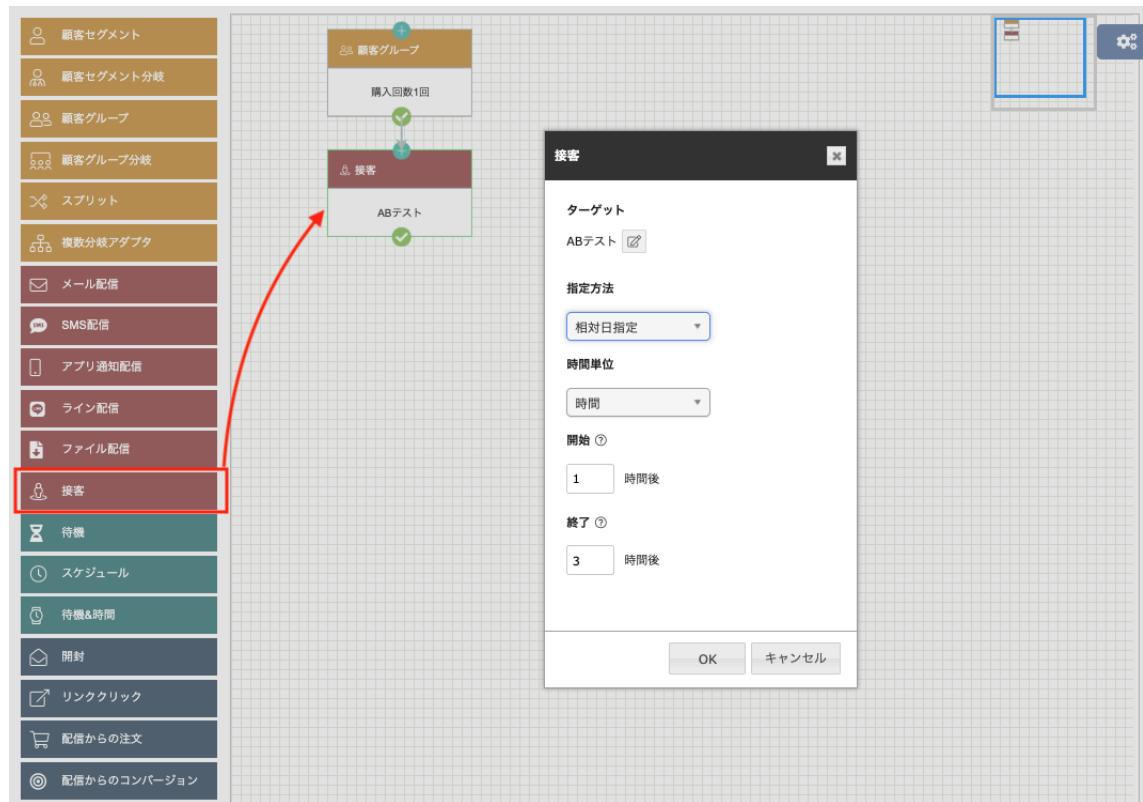
ID	名前	ステータス	開始日時	完了日時
1055	test	中止		

また、シナリオ詳細画面では、シナリオ名の横にアイコンと顧客フィルターに指定している顧客グループ名が確認できます。



## 6.2. 接客ウィジェットの追加

シナリオで抽出されたユーザーに対して、接客を表示できるようになりました。



接客ウィジェットをドラッグ&ドロップすると、上図のようになります。

この設定は、下記のような挙動になります。

1. シナリオ実行日時に、購入回数1回の顧客を抽出
2. 1で抽出された顧客に対して、「ターゲット」で指定した接客サービスを1時間後～3時間後の2時間だけ表示

なお、接客ウィジェットで指定する「ターゲット」の接客サービス側の表示条件は、「シナリオの会員に表示」にしておく必要があります。

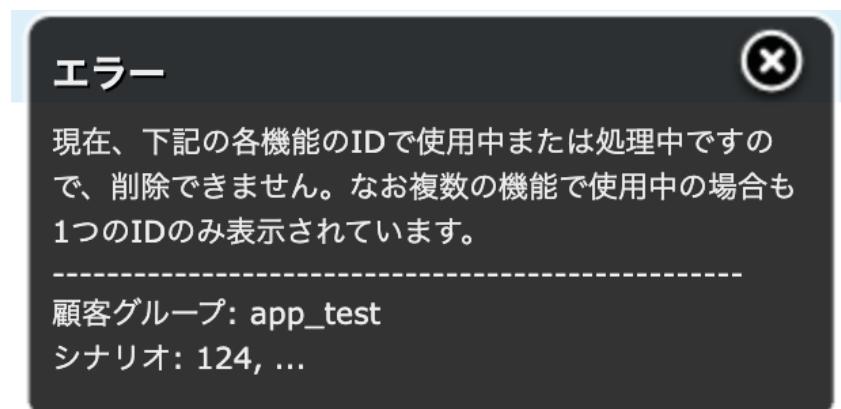
詳細は、『9.4 表示条件の対象ユーザーに、「シナリオの会員に表示」を追加』をご覧ください。

## 7. 顧客グループ・顧客セグメント

### 7.1. 利用中のセグメントを削除できないよう対応

シナリオや各チャネルなどで使用中の顧客グループや、顧客グループで使用中の顧客セグメントを削除しようとすると、下記のようなエラーメッセージが表示され、該当の顧客グループ・顧客セグメントが削除できなくなりました。

これにより、利用中の顧客グループや顧客セグメントを誤って削除してしまうことがなくなります。



### 7.2. セグメント属性「カスタム」に、項目「回数」を追加

セグメント属性「カスタム」に、新たに項目「回数」を追加しました。

これにより、指定のカスタムタグが送信された回数でセグメント可能になりました。

The screenshot shows the 'カスタム' (Custom) attribute configuration screen for segments. At the top, there are buttons for back, forward, and search. Below is a search bar labeled 'セグメント名' (Segment Name). On the right, there is a '会員数' (Member Count) button. The main area is titled '属性' (Attributes) and contains a table with several rows. The second row, which has a red border around it, is highlighted. This row has '含む' (Include) selected for the first column and '回数' (Count) for the second column. The third column contains dropdown menus for comparison operators ('等しい' - Equal to, '選択' - Select) and a text input field. The table also includes rows for '区分1', '区分2', and '区分3' with '完全一致' (Exact match) operators and empty input fields. At the bottom right are '戻る' (Back) and '保存' (Save) buttons.

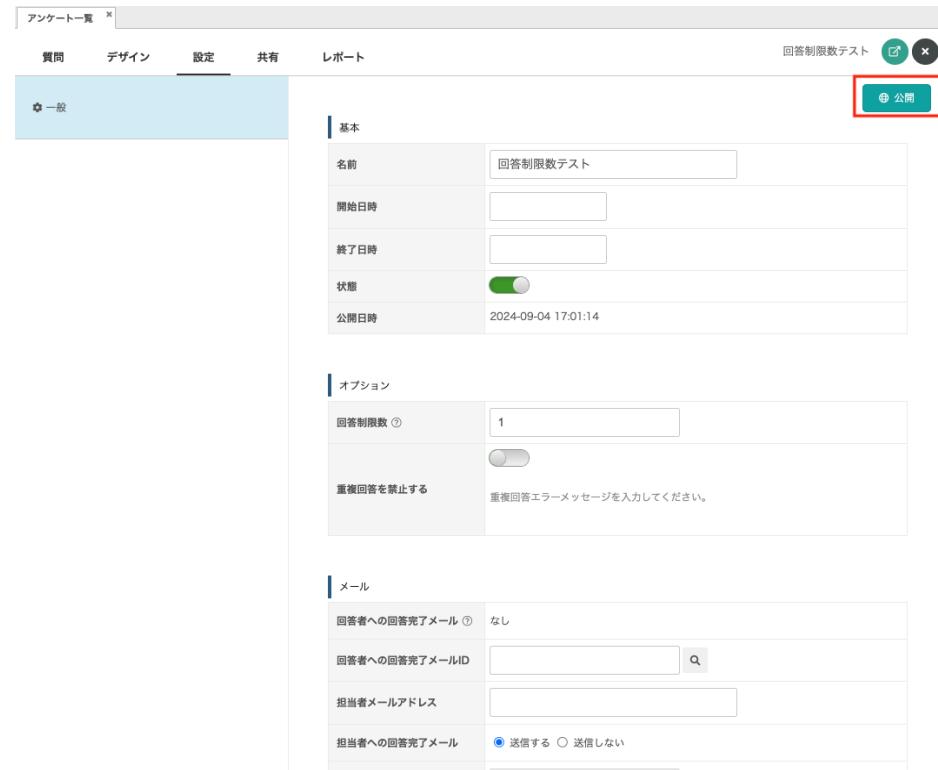
## 8. アンケート

### 8.1. 公開ボタンで、公開済みかどうかが分かるよう対応

アンケートの「設定」タブにございます「公開」ボタンを改良し、アンケート修正後に公開していない場合は「公開」ボタンに、公開した後は「公開済み」ボタンになるよう対応しました。

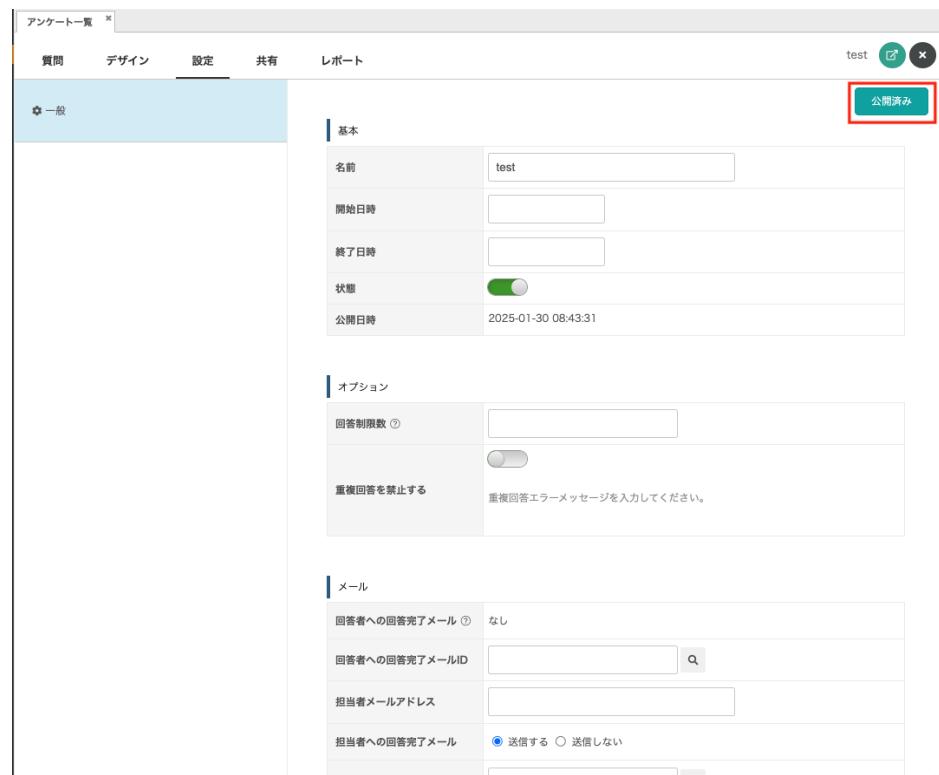
なお、「公開済み」ボタンはクリックできないようになっています。

#### ◆「公開」ボタン



The screenshot shows the 'Survey Settings' page. The top navigation bar includes 'アンケート一覧', '回答制限数テスト', and a '公開' button. The '設定' tab is selected. The left sidebar shows a '一般' category. The main content area is divided into three sections: 'Basic' (基本), 'Optional' (オプション), and 'Email' (メール). The 'Basic' section contains fields for 'Name' (名前), 'Start Date' (開始日時), 'End Date' (終了日時), 'Status' (状態), and 'Published Date' (公開日時). The 'Optional' section contains fields for 'Answer Limit' (回答制限数) set to 1, and a toggle switch for 'Ban Duplicate Answers' (重複回答を禁止する). The 'Email' section contains fields for 'Email to Respondents' (回答者への回答完了メール), 'Email ID' (回答者への回答完了メールID), 'Manager Email Address' (担当者メールアドレス), and 'Email to Manager' (担当者への回答完了メール) with a radio button for 'Send' (送信する). The 'Published' button in the top right corner is highlighted with a red box.

## ◆「公開済み」ボタン(クリック不可)



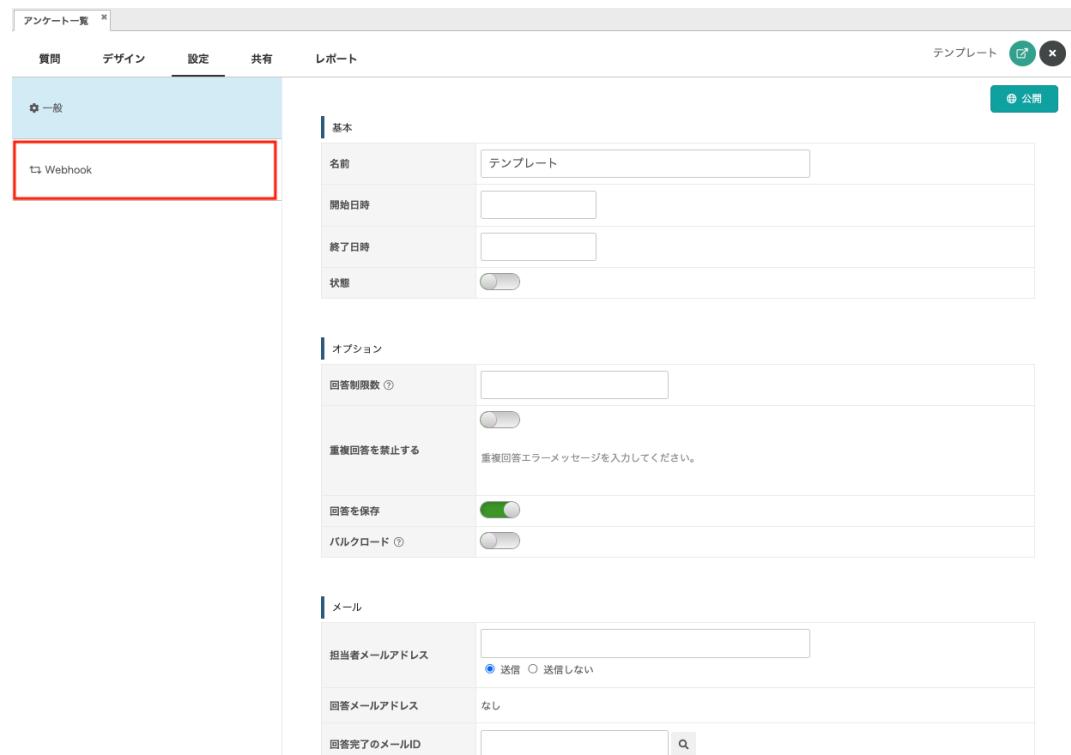
The screenshot shows a survey configuration interface with the following sections and data:

- Top Navigation:** 質問 (Question), デザイン (Design), 設定 (Setting, currently selected), 共有 (Share), レポート (Report).
- User Information:** test (User),  (checkbox),
- General Section:** 一般 (General) tab selected.
- Basic Settings:**
  - 名前 (Name): test
  - 開始日時 (Start Date): (empty input)
  - 終了日時 (End Date): (empty input)
  - 状態 (Status):
  - 公開日時 (Published Date): 2025-01-30 08:43:31
- Optional Settings:**
  - 回答制限数 (Response Limit): (empty input)
  - 重複回答を禁止する (Ban Duplicate Responses):   
重複回答エラーメッセージを入力してください。
- Email Settings:**
  - 回答者への回答完了メール (Email to Respondent): なし (None)
  - 回答者への回答完了メールID (Email ID): (empty input)
  - 担当者メールアドレス (Manager Email Address): (empty input)
  - 担当者への回答完了メール (Email to Manager):  送信する  送信しない

## 8.2. Webhookメニューを一般メニューへ統合

従来まで、アンケート詳細画面の「設定」タブ内で別メニューだった「Webhook」を、「一般」メニュー内に移動し、統合しました。

### ◆従来



アンケート一覧

質問 デザイン 設定 共有 レポート テンプレート 公開

一般

Webhook

基本

名前	テンプレート
開始日時	
終了日時	
状態	スイッチ

オプション

回答制限数	入力欄
重複回答を禁止する	スイッチ
回答を保存	スイッチ
パルクロード	スイッチ

メール

担当者メールアドレス	送信 <input checked="" type="radio"/> 送信しない
回答メールアドレス	なし
回答完了のメールID	検索ボックス

### ◆統合後



アンケート一覧

質問 デザイン 設定 共有 レポート 回答制限数テスト 公開

一般

ここからは削除

オプション

回答制限数	1
重複回答を禁止する	スイッチ

メール

回答者への回答完了メール	なし
回答者への回答完了メールID	検索ボックス
担当者メールアドレス	
担当者への回答完了メール	送信する <input checked="" type="radio"/> 送信しない
担当者への回答完了メールID	検索ボックス

「担当者への回答完了メールID」が「送信する」で、「担当者への回答完了メールID」の内容で「担当者メールアドレス」へメールが送信されます。

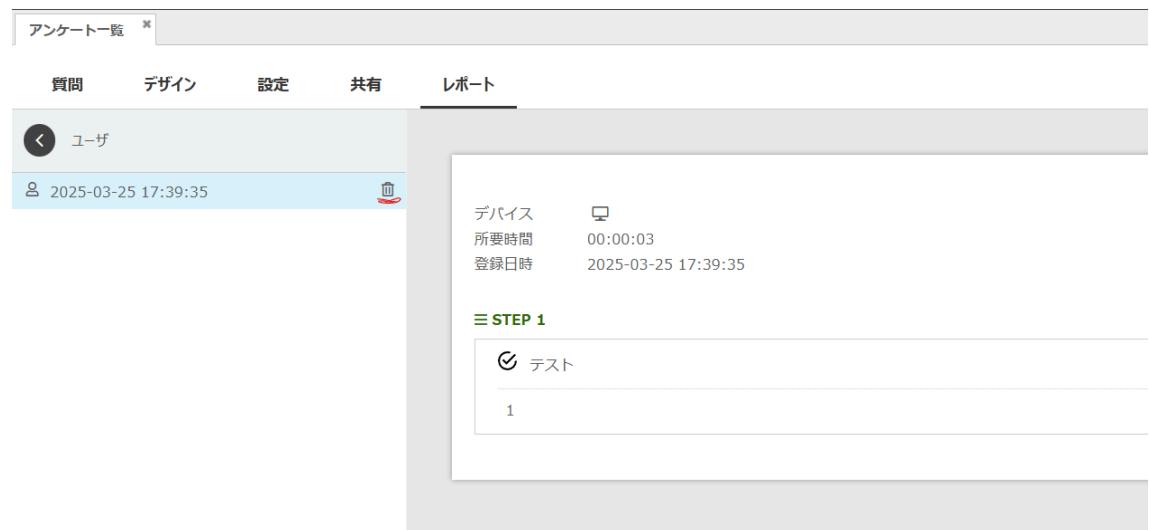
Webhook

有効	スイッチ
URL	https://yourwebsiteurl/webhook

保存

### 8.3. アンケートの回答を削除できるよう対応

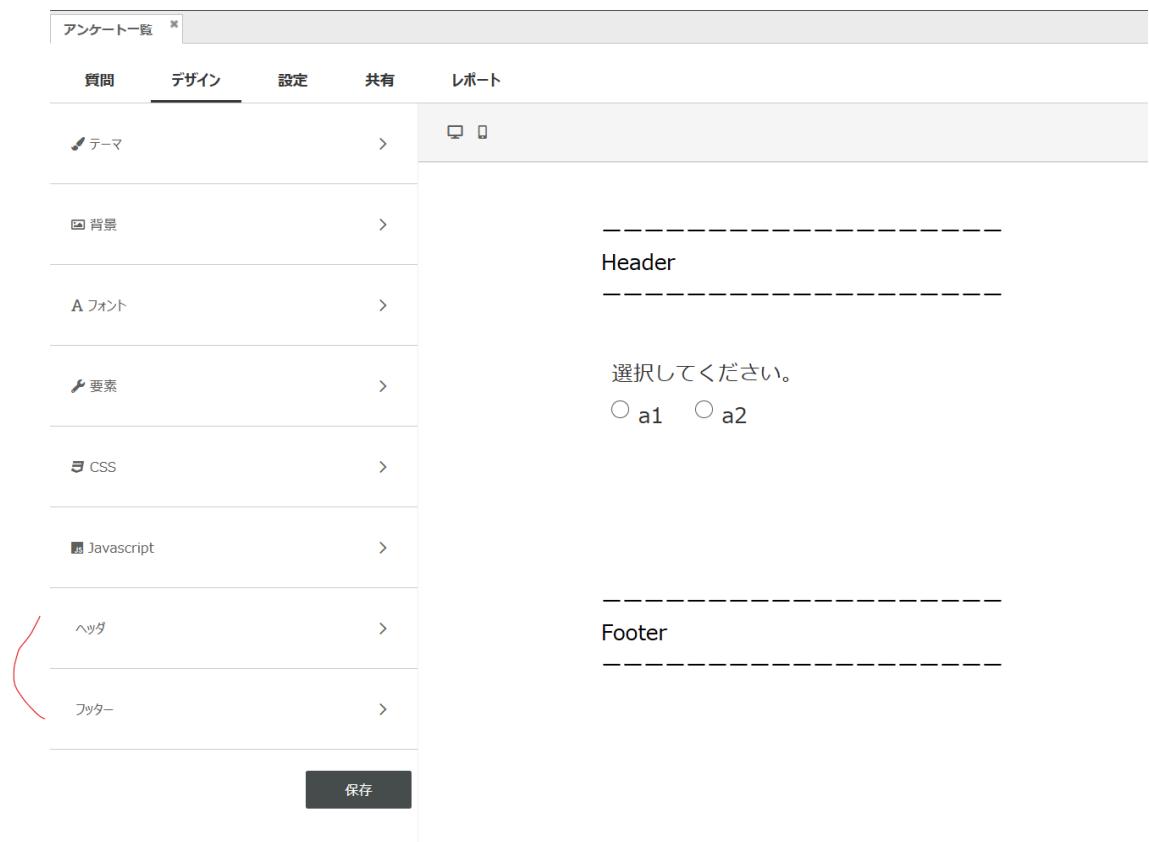
アンケートの回答を個別に削除できるように対応しました。



The screenshot shows a survey response detail view. At the top, there are tabs: 質問 (Question), デザイン (Design), 設定 (Setting), 共有 (Share), and レポート (Report). The Report tab is selected. Below the tabs, there is a back arrow labeled 'ユーザ' (User) and a timestamp '2025-03-25 17:39:35'. To the right of the timestamp is a red delete icon. The main content area shows a table with device information: デバイス (Device) is a smartphone, 所要時間 (Duration) is 00:00:03, and 登録日時 (Registration Date and Time) is 2025-03-25 17:39:35. Below this is a section titled 'STEP 1' with a list item '1' and a 'テスト' (Test) label with a delete icon.

### 8.4. 質問画面・確認画面・完了画面で共通設定できるヘッダー・フッターを追加

アンケート詳細画面の「デザイン」タブで、質問画面・確認画面・完了画面で共通のヘッダー・フッターを設定できるようになりました。



The screenshot shows the survey design settings page. The 'Design' tab is selected. On the left, there is a sidebar with options: テーマ (Theme), 背景 (Background), フォント (Font), 要素 (Element), CSS, Javascript, ヘッダ (Header), and フッター (Footer). A red bracket on the left side groups the 'Header' and 'Footer' options. On the right, there are two sections: 'Header' and 'Footer'. The 'Header' section contains a dashed line and the text 'Header'. The 'Footer' section contains a dashed line and the text 'Footer'. Below these sections are radio buttons for 'a1' and 'a2'. At the bottom right is a '保存' (Save) button.

## 8.5. 「回答を保存」オプション、「バルクロード」機能の廃止

アンケート詳細画面の「設定」タブで、「回答を保存」オプション、「バルクロード」機能を廃止しました。

これにより、回答は常に保存されるようになります。  
また、大量のアクセスが集中する場合の対応が可能になる「バルクロード」機能は、利用頻度が低いため、機能自体を廃止しました。



## 8.6. 回答内容のメール配信を、回答者と担当者で別々に設定できるよう対応

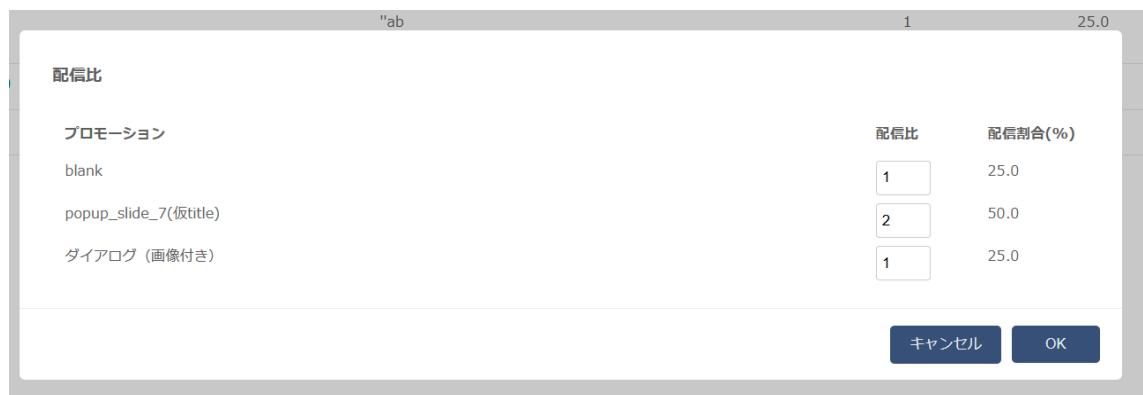
従来まで、アンケート回答内容をメールで配信する際、回答者と担当者で同じフォーマットのメールしか設定できませんでしたが、回答者用のメールと担当者用のメールをそれぞれ設定できるようになりました。



# 9. 接客

## 9.1. プロモーションごとに配信比率を設定できるよう対応

従来まで、複数のプロモーションを設定すると、均等に配信されておりましたが、新たに配信比率を設定できるようになりました。



## 9.2. プロモーションのA/Bテスト機能を強化

プロモーションのA/Bテスト機能が強化されました。

テスト判定日に基づいて、あらかじめ設定した配信比率に自動で切り替えが可能になりました。

- テスト日
  - A/Bテスト結果の判定日です。
- 期間
  - テストを実施する期間です。「テスト日」以前の日数が対象期間になります。
- 評価指標
  - テスト日に判定する基準となる評価指標です。  
クリック(率)、コンバージョン(率)のいずれかを選択いただけます。
- アクション
  - テスト結果が出た後、ランキング順位ごとに、どの配信比で配信するかを設定します。

□ プロモーション

[プロモーションを追加](#) [配信比](#) [A/Bテスト](#)

ID	名前	配信比	配信割合(%)	状態
304	未実施			
305	ダイアログ	5	83.33	
306	ポップアップ	1	16.67	

↗ A/Bテスト

テスト日 2025-05-29

期間 3日

評価指標 クリック

アクション	ランキング	配信比	配信割合(%)
	1	3	75.0
	2	1	25.0

戻る

次へ

上図の設定内容ですと、下記のような挙動になります。

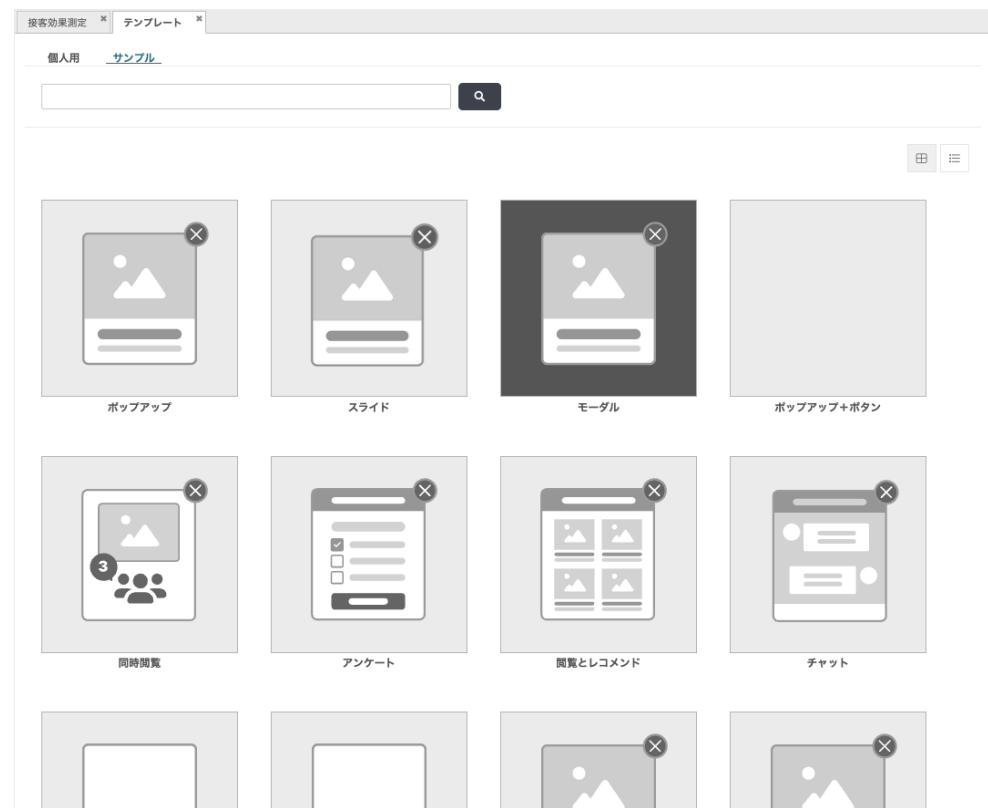
- プロモーションID: 305と306を配信比5:1で配信
- 2025/05/27～29の3日間でA/Bテストを実施(配信比は5:1のまま)
- 2025/05/30になるとA/Bテスト結果が出るので、クリック割合が1位だったプロモーションと2位だったプロモーションの配信比を3:1に更新

### 9.3. サンプルテンプレートを階層で分類、閲覧モード追加、テンプレート大幅拡充

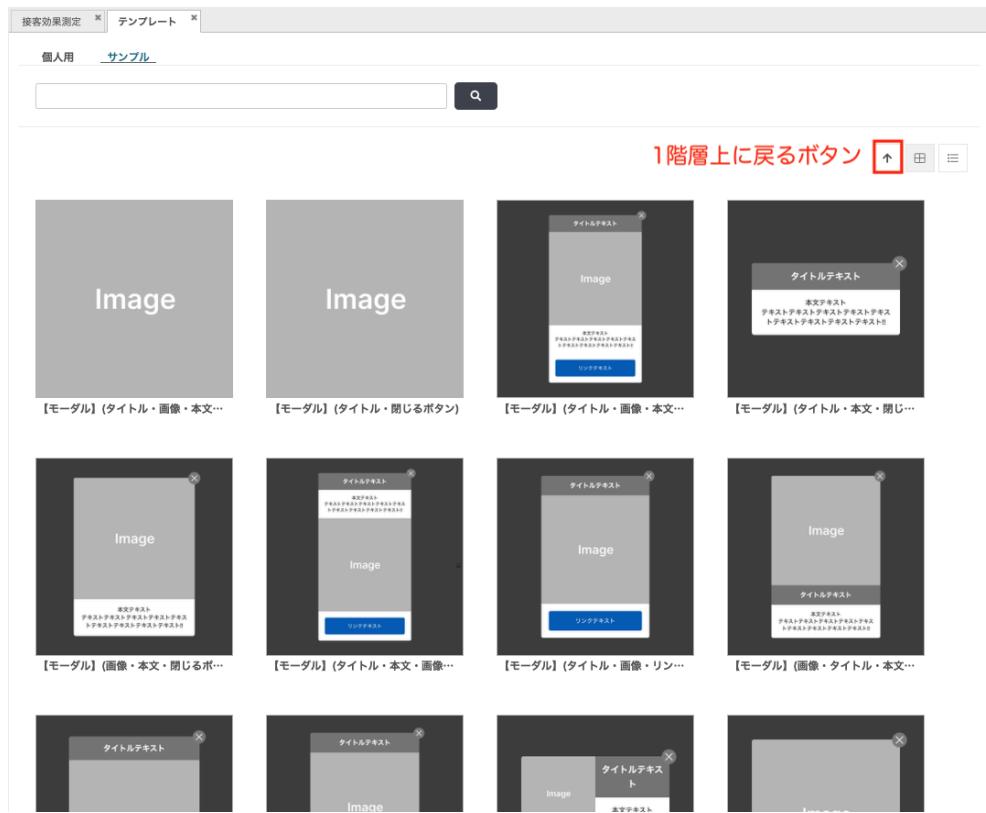
サンプルテンプレートを階層で分類するようになりました。

さらに、汎用的にご利用いただけるサンプルテンプレートを大幅に拡充しました。

※本機能は2025年7月中旬～下旬頃に実装予定です。



↓「モーダル」をクリック



また、サンプルテンプレートに閲覧モードを追加し、コピーしなくてもサンプルテンプレートの動作確認ができるようになりました。  
※閲覧モードではテンプレートの保存はできませんので、ご注意ください。



#### 9.4. 表示条件の対象ユーザーに、「シナリオの会員に表示」を追加

表示条件の対象ユーザーに、「シナリオの会員に表示」が追加されました。  
シナリオで抽出された会員に対して接客を表示する場合、指定する必要があります。

□ 表示条件

対象ユーザー	すべてビジターに表示	会員に表示	非会員に表示	<b>シナリオの会員に表示</b>
配信頻度	アクセス毎に表示	セッション毎に表示	ユーザー毎に表示	経過時間毎に表示
ユーザーごと最大配信数	<input type="text"/>			
曜日・時間の設定				
<b>+ 時間設定を追加</b>				

## 9.5. 表示条件に曜日・時間の設定を追加

表示条件に、曜日・時間の設定を追加しました。

これにより、より細かい日時条件で接客の出し分けが可能になります。



## 9.6. サービス・プロモーションにメモ機能を追加

サービス・プロモーションにメモを追加できるようになりました。

### ◆サービスのメモ欄

接客

サービス名	シナブルテスト 2
ビューア	ブラウザ ▾
開始日時	2024-10-23 10:00
終了日時	2024-12-31 10:00
配信優先度 ②	2 ▾
効果測定	<input checked="" type="checkbox"/>
状態	<input checked="" type="checkbox"/>
メモ	メモテスト中です。

### ◆プロモーションのメモ欄

◀ 設定■

名前	<input type="text" value="メッセンジャー接客 1"/>
ターゲット	<input checked="" type="button" value="ID"/> <input type="button" value="セレクター"/>
位置	<input type="text" value="要素の内容を置き換える"/>
メモ	<input type="text"/>

## 9.7. プロモーションをコピーする機能を追加

プロモーションをコピーできるようになりました。

□ プロモーション

ID	名前	配信比	配信割合(%)	状態	操作
304	未実施			<input type="checkbox"/>	
305	ダイアログ	5	83.33	<input checked="" type="checkbox"/>	
306	ポップアップ	1	16.67	<input checked="" type="checkbox"/>	

↓コピーボタン押下

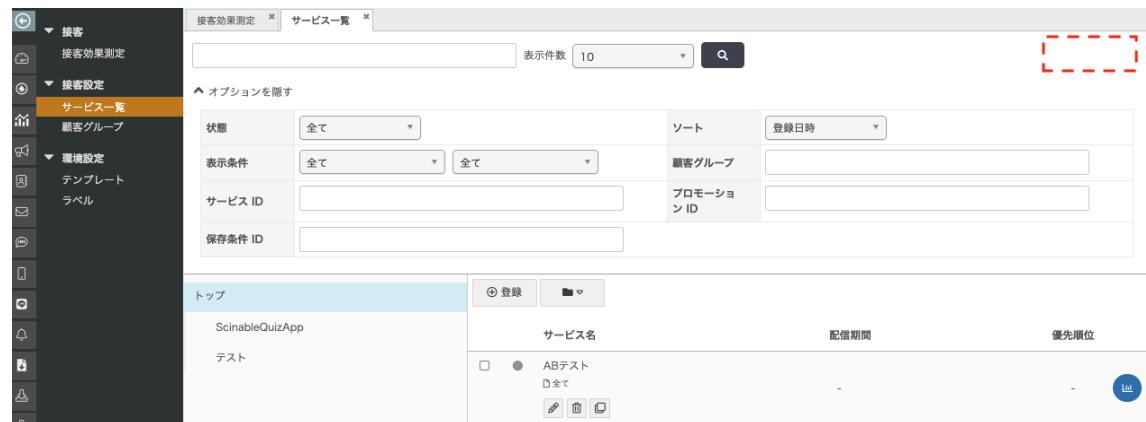
□ プロモーション

ID	名前	配信比	配信割合(%)	状態	操作
304	未実施			<input type="checkbox"/>	
305	ダイアログ	5	71.43	<input checked="" type="checkbox"/>	
306	ポップアップ	1	14.29	<input checked="" type="checkbox"/>	
307	ポップアップ - コピー	1	14.29	<input checked="" type="checkbox"/>	

## 9.8. すべての公開ボタンを廃止

サービス一覧画面右上にあった「公開」ボタンを廃止しました。

これまで、複数の接客サービスを一括で公開されていたお客さまにはご不便をおかけしますが、個々の接客サービス内で公開をお願いいたします。



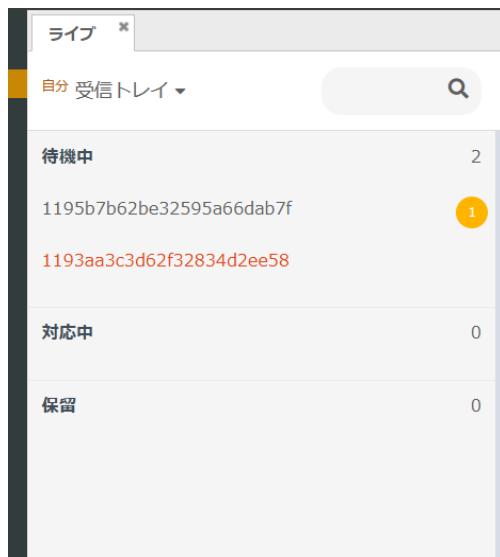
The screenshot shows the 'Customer Service List' screen. On the left, a sidebar menu includes 'Customer Effectiveness Measurement', 'Customer List', 'Customer Settings', 'Customer Group', 'Environment Settings', 'Template', and 'Label'. The 'Customer List' item is highlighted with a yellow background. The main area has a header 'Customer Effectiveness Measurement' and 'Customer List'. It includes a search bar, a display count of 10, and a search button. Below this is a filter section with dropdowns for 'Status' (All), 'Sort' (Registration Date), 'Display Conditions' (All), 'Customer Group' (empty), 'Service ID' (empty), 'Preservation Condition ID' (empty), and 'Promotion ID' (empty). At the bottom, there is a table with columns: 'Top', 'Registration' (button), 'Delete' (button), 'Service Name', 'Delivery Period', and 'Priority Order'. The 'Service Name' column shows 'ScinableQuizApp' and 'Test'. The 'Delivery Period' column shows 'AB Test' (radio button selected) and 'All'. The 'Priority Order' column shows a blue circular icon with the number '1'.

## 10. チャット

### 10.1. ライブ画面のすべてのチャットで未読メッセージがあると、通知音が鳴るオプションを追加

ライブ画面を開いている時に、一度でも開いたチャットルームに未読メッセージがあると、通知音が鳴るようになっていましたが、一度も開いていないチャットルームに未読メッセージがあっても通知音が鳴るオプション機能が追加されました。

※ご利用には、弊社で設定が必要です。



- 10.2. チャット以外に、メッセンジャー専用の接客プロモーション・検索・WebサイトURLを表示できる機能を追加  
チャットだけでなく、メッセンジャー専用の接客プロモーション・検索・WebサイトURLをメニューとして追加できるようになりました。

□ メニュー

名前	チャット
アイコン	
種類	チャット
優先順位	チャット
コメント	プロモーション 検索 URL
状態	<input checked="" type="checkbox"/>



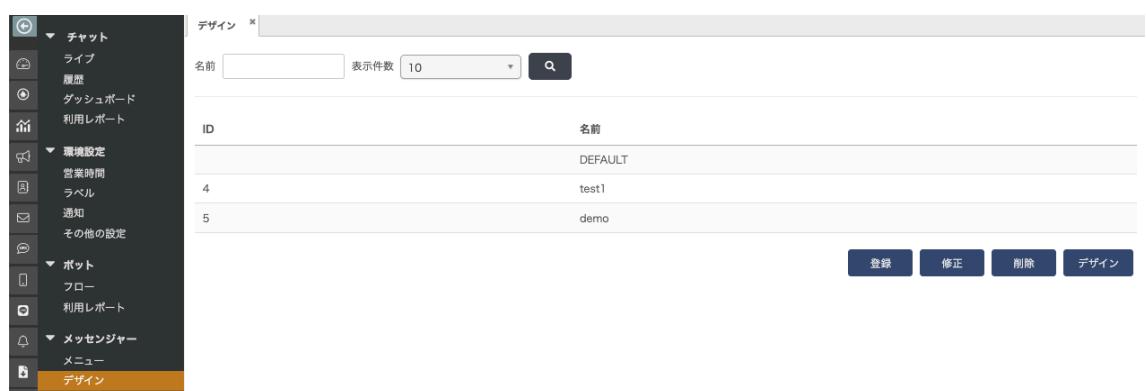
⌚ メッセージを入力してください。 ➤

クーポン チャット メニュー検索 セミナー

### 10.3. 複数のチャットデザインを設定する機能を追加

チャットデザインを複数設定可能になりました。

チャットを表示させたいページによって、異なるデザインでチャットを表示させることができます。



### 10.4. ボットのフローを検索する機能を追加

チャットのテキスト入力欄に単語を入力して送信すると、その単語を含むチャットボットのフローを検索し、レスポンスする機能を追加しました。

(例)「価格」というメッセージを送信  
→「価格についてはこちら」がレスポンスされる。



## 11. サーチ

### 11.1. サジェストで、複数キーワードをソートせずそのまま指定するオプションを追加

複数キーワードをスペース区切りで入力された際のサジェストにおいて、従来までは複数キーワードをソートした結果をレスポンスしていましたが、ソートせず結果をレスポンスするオプションを追加しました。

たとえば、「THE NORCE FACE」のように、キーワードの順番に意味がある場合に、従来は「FACE NORCE THE」とサジェストキーワードがレスポンスされていましたが、これを解消することが可能になります。

### 11.2. 検索フィルタ・類語辞典で、複数キーワードをダブルクォーテーション区切りで1つの単語として扱う機能を追加

検索フィルタ・類語辞典において、スペース区切りの複数キーワードをダブルクォーテーションで囲うと、1つの単語として扱えるようになりました。

□ 検索フィルタ

単語	backnumber "back number"
*単語の区切りに空白文字を使用してください。複数の単語で構成されている場合は、ダブルクォーテーション ("") を使用して登録してください。	
オペレーター	OR
クエリ	singer
サッカー 野球 : サッカーと野球どちらも含む。 サッカー AND 野球 : サッカー 野球と同様。 サッカー OR 野球 : サッカーまたは野球どちらかまたは両方含む。 (): 数式のように括弧の中を最初に評価するように指示する。	

### 11.3. item.tsvのstring・number・disp項目数の拡張に対応

item.tsvのstring・number・disp項目数はそれぞれ上限が決まっておりましたが、拡張することが可能になりました。

拡張には別途設定が必要です(有償です)。

### 11.4. グループ商品機能利用中かどうかを管理画面で確認できるよう対応

グループ商品機能を利用している場合、クロール画面のタイプに「グループ商品」と表示されるようになりました。

ダッシュボード クロール

種類 アイテム

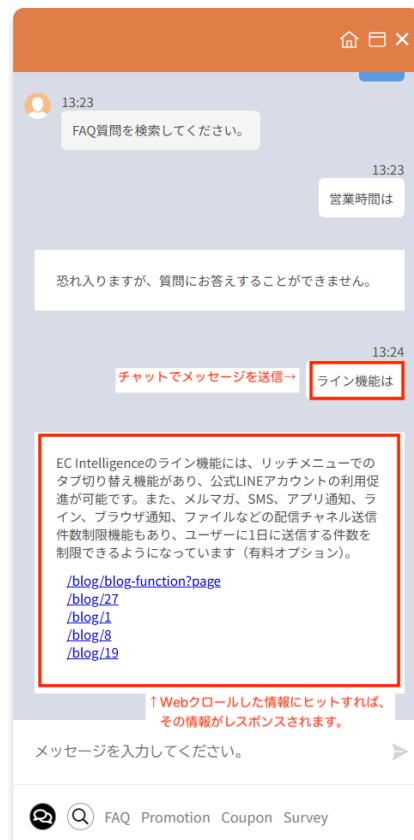
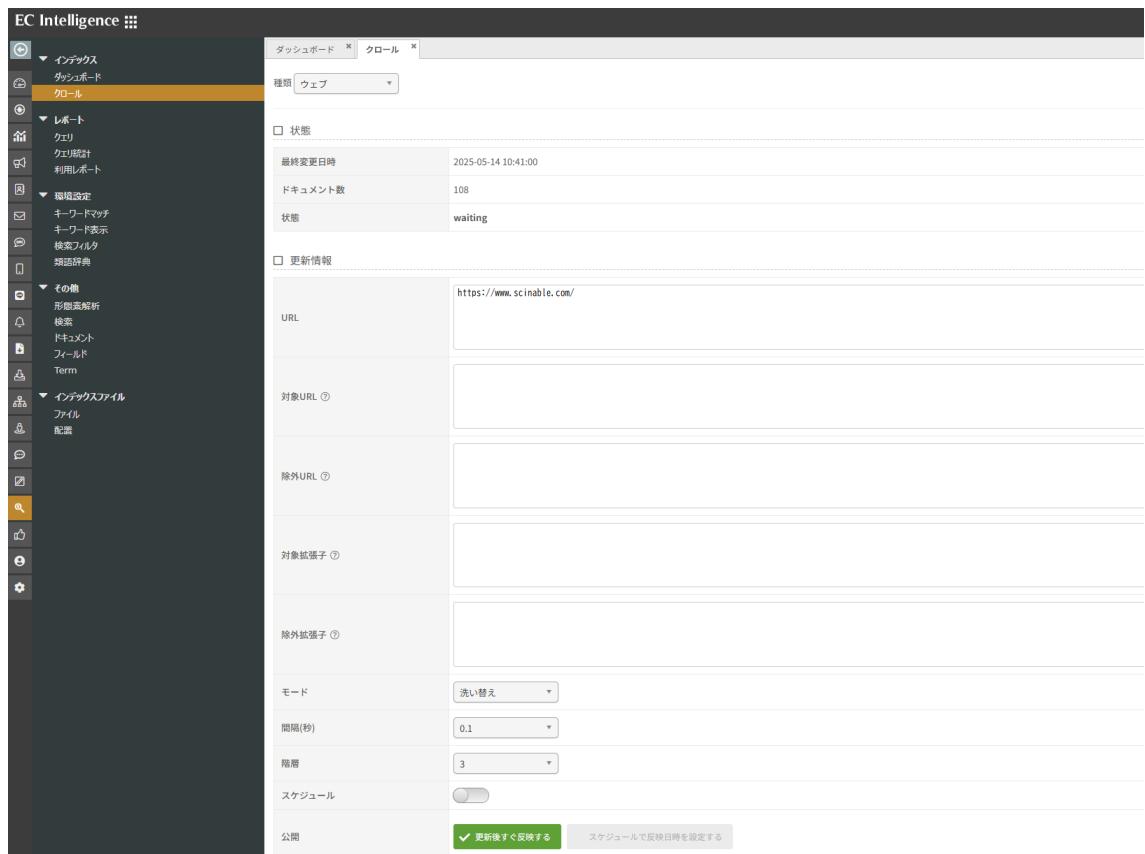
□ 状態

最終変更日時	2025-04-04 14:39:00
タイプ	グループ商品
ドキュメント数	852
状態	waiting

## 11.5. Webサイトのクロール機能追加

指定のWebサイトをクロールし、チャット内でクロールした情報を検索できるようになりました。

※ご利用には、インデックス追加オプションが必要です。



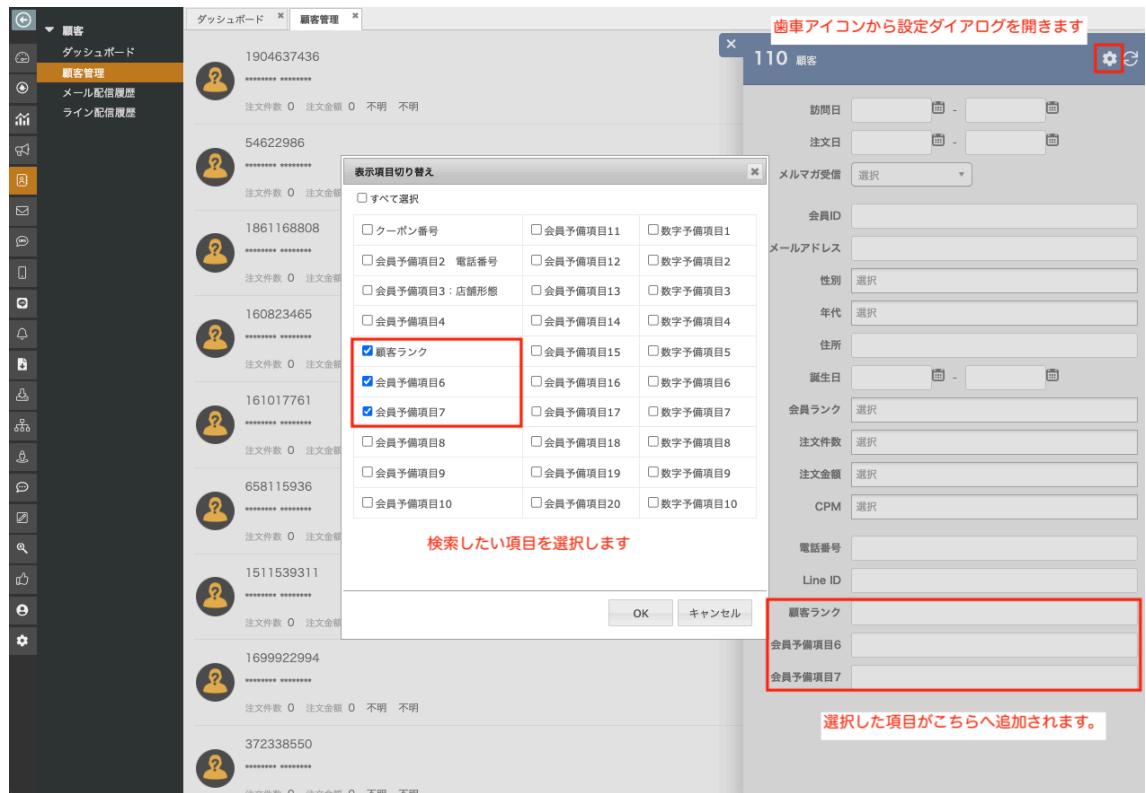
## 11.6. 検索APIのレスポンス項目の一部変更

リクエストパラメータに指定したnumber項目を、レスポンスの「response > index > summary > query」から「response > index > summary > facetQuery」へ移動しました。

## 12. 顧客

### 12.1. 任意の予備項目で検索できる機能を追加

会員データの予備項目(予備項目1~20、数値予備項目1~10)を検索項目に追加できるようになりました。



## 13. データ連携(タグ、ファイル)

### 13.1. \_setSessionタグ、\_trackSessionタグの引数にopt\_operatorを追加

既存のセッション値に対して、指定された演算子で計算された値をセットすることが可能になりました。

項目名	必須	型	説明
id <sup>②</sup>	ID <sup>②</sup>	○ <sup>②</sup>	テキスト <sup>②</sup>
value <sup>②</sup>	値 <sup>②</sup>	○ <sup>②</sup>	INT型 <sup>②</sup>
opt_operator <sup>②</sup>	演算子 <sup>②</sup>	②	plus, minus, multiply, divide <sup>②</sup> 既存 value ～指定された演算子で計算された値がセットされます。 <sup>②</sup> 指定しないと上書きします。 <sup>②</sup> アプリ API では指定できません。 <sup>②</sup>

下記の例ですと、id=1のセッション値は4000(3000+1000)となります。

```
_scq.push(["_trackSession", '1', '3000']);
_scq.push(["_trackSession", '1', '1000', 'plus']);
```

### 13.2. \_setCustomVarタグの会員ID(customerId)・会員ランク(customerLevel)を暗号化してCookieに保存するよう対応

\_setCustomVarタグでCookieに保存される会員ID・会員ランクが、暗号化されて保存されるようになりました。

#### 4.2.2 ログイン

##### \_setCustomVar(customerId, birthDate, gender, customerLevel)

会員の情報をCookieに保存します。生年月日は年代コードに変更されて保存されます。

ログインか注文時など、会員情報が取れる時点で\_setCustomVarの設置します。

一度\_setCustomVarが実行されるとcookieに保存され(2年間)、そのあとは非login状態でも会員IDを取得できるようになります。

項目名	必須	型	説明
会員ID	○	100文字	個人情報(メールアドレスなど)は利用できません。'.'文字は利用できません。
生年月日		8文字	YYYYMMDDまたは 空白
性別	○	1文字	0不明、1男、2女
会員ランク		100文字	テキスト。'.'文字は利用できません。

```
_scq.push(["_setCustomVar",
  'M12345', //会員ID
  '19800903', //生年月日
  '1', //性別
  '一般' //会員ランク
]);
```

```
Android, iOS
scq.setCustomVar("id1", "19800101", "1", "gold");
```

### 13.3. 会員データファイル(member.tsv)に、「メルマガ登録解除リンク」の項目を追加

メルマガ登録を解除するためのURL(会員ごとに異なる専用のURL)を、会員データファイル(member.tsv)の「unsubscribe\_link」項目へ連携できるようになりました。

#### 3.2 会員データのファイル(member.tsv)

項目名	必須	型	説明
登録日	○	8文字	YYYYMMDD形式で登録してください。 例)20140401
登録時間	○	INT型 0-23	

18

Copyright© 2015 Scinable Corporation All Rights Reserved.

EC Intelligence Suite 導入ガイド

区分	type	○	1文字	C: 登録 U: 更新、更新対象のデータが存在しない場合は登録 *1 W: 脱退
会員ID	customer_key	○	100文字	任意テキスト 個人情報(メールアドレスなど)は利用できません。: 文字は利用できません。
住所	address1		100文字	都道府県のみ
性別	gender_name		10文字	不明、男、女
生年月日	birth_date		8文字	YYYYMMDD形式で登録してください。
会員ランク	customer_level_name		100文字	任意テキスト
Email	email		100文字	メルマガを利用する場合は値を設定してください。
姓	last_name		100文字	メルマガを利用する場合は値を設定してください。
名	first_name		100文字	メルマガを利用する場合は値を設定してください。
メルマガ可否	mail_yn		1文字	1:受信、0:受信しない(デフォルト)
有効可否	valid_yn		1文字	1:有効、0:脱退(デフォルト)
予備項目1 ~ 20	dim1 ~ 20		100文字	
数値予備項目1 ~ 10	ndim1 ~ 10		INT型	
地域	area		100文字	天気セグメントで利用する地域コード 郵便番号頭3桁 例)001, 203 *利用には相談してください。
所持ポイント	member_point		INT型	
最短ポイント有効期限	point_expiration_date		8文字	YYYYMMDD形式で登録してください。
メルマガ登録解除リンク	unsubscribe_link		なし	任意のテキスト。 独自の購読解除リンク(List-Unsubscribeヘッダー)の設定に必要な文字列です。 (未設定の場合、ECI標準の購読解除リンクが送出されます) 絶対URLを設定してそのままList-Unsubscribeヘッダーに出力することも、 パラメータ値を設定して、ベースURLのパラメータ部分に出力することも可能です。

メルマガ本文で、ワンクリックでメルマガ登録解除するためのURLを差し込んでメルマガ配信できます。

また、弊社での設定が必要となります、「unsubscribe\_link」項目へ連携していただいたURLを、メルマガ配信時にメールのList-Unsubscribeヘッダーにメルマガ登録解除用URLにセットすることも可能です。

この設定をすることで、メーラーの「登録解除」のようなリンクのURLを「unsubscribe\_link」項目に連携されたURLに変更でき、受信した会員がそのリンクをクリックすることで、メルマガ登録解除することができます(下記はGmailの例です)。



メーリングリストの登録解除

## 14. ユーザ管理

### 14.1. ロールグループ機能を追加

複数のロールを1つのロールグループとしてまとめることができるようになりました。

※本機能は、adminロールもしくはuserロールをお持ちのユーザのみ設定可能です。

補足: ロールについて [https://help.scinable.com/?page\\_id=462](https://help.scinable.com/?page_id=462)



ロールグループ ID	説明
outourcing_role_group	業務委託社員用ロールグループ

ロール

analysis  
dashboard

コピ— 新規 保存 削除